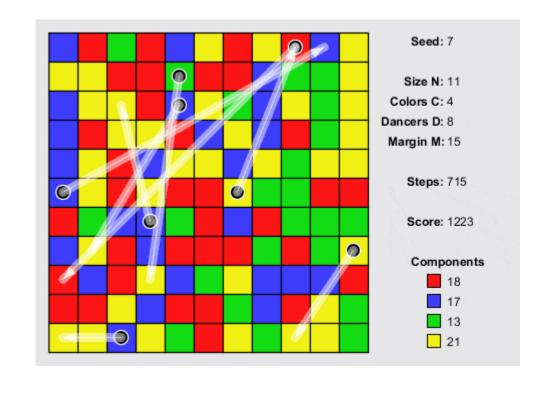


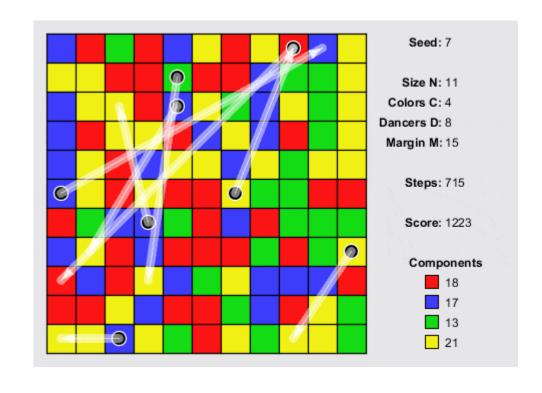
問題概要

- D人のダンサーがパフォーマンス
- フロアの各タイルはC色に発光するLED
 - 人がタイルを踏むごとに色が変わる
 - 各タイルは固有の発光順序をもつ
 - 発光周期は*C*で、[1,2,...,*C*]の順列
- 各ダンサーは振り付けに従い、 Sステップのダンスを踊る
 - 1ステップで4近傍に移動
 - 振り付けは(x,y,t)の列で表される
 - ステップtの時点で位置(x,y)にいる必要がある
- フロアができるだけ'きれい'な状態で終わるようダンサーの動きを決める
 - スコア: 各色のタイルの連結成分数の二乗和

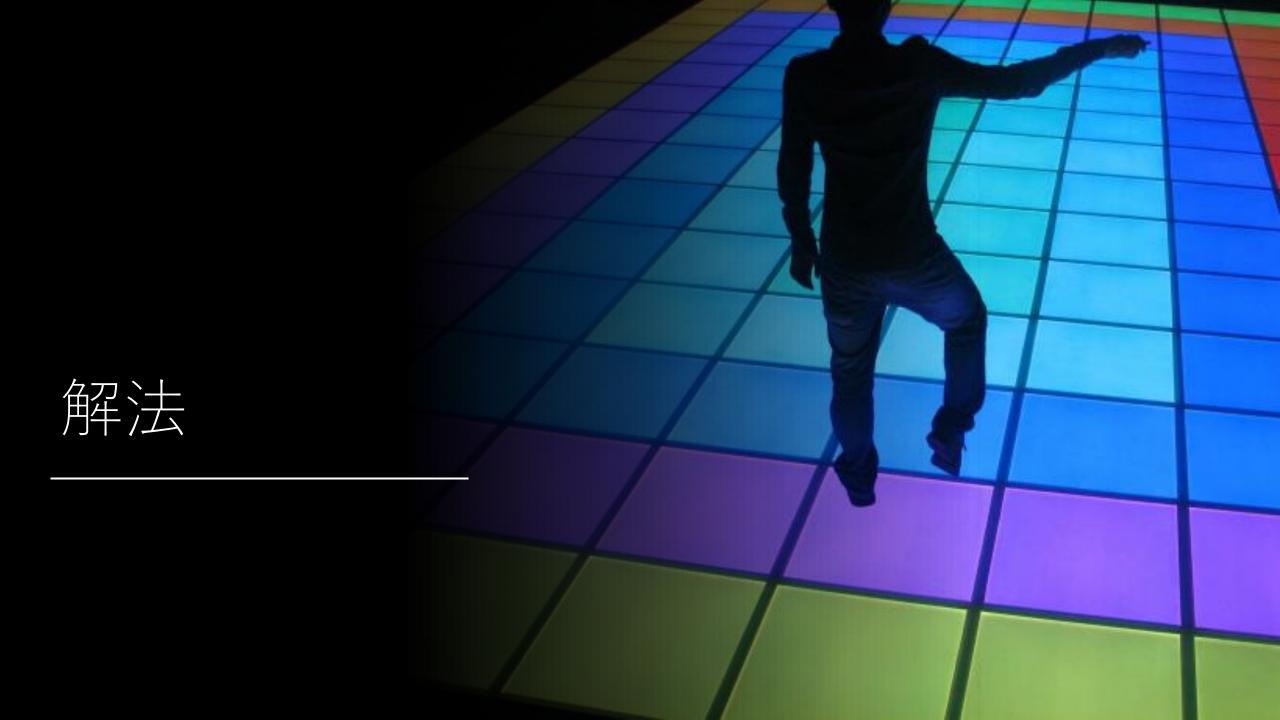


制約

- $N \in [8, 50]$
- $D \in [2, 10]$
- $C \in [2, 6]$
- *S* ∈ [50, 1500]
- $M \in [0, 15]$
 - マージンパラメータ
 - 振り付けの連続する二点 (x_1, y_1, t_1) , (x_2, y_2, t_2) について、マンハッタン距離をdとしたとき、 $t_2 \in [t_1 + d, t_1 + d + M]$ が成り立つ



• 全ての値は一様乱数で生成



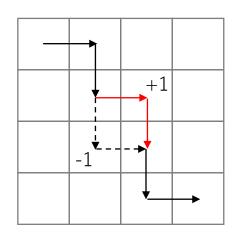
実装前の考察

- 振り付けにおける $(x_i, y_i, t_i) \rightarrow (x_{i+1}, y_{i+1}, t_{i+1})$ への移動をパスと呼ぶ
- 各ダンサーのダンスはパスの列として表現できる
- 全ダンサーのパスの列で状態が表現できる
- パスのデータ構造は、
 - 移動猶予時間 $t_{i+1} t_i$
 - 移動経路 $(x_0, y_0), (x_1, y_1), ..., (x_{T-1}, y_{T-1})$
 - 連続する2点は4近傍の関係にある
- 方針: ランダムに選んだパスの経路変更を遷移とする、焼きなまし
 - 各タイルの色は発光順序と訪問回数のみで決まるので、順序に依存しない
 - 経路変更に伴う連結成分数の変化をいかに速く計算するか?がキーとなりそう

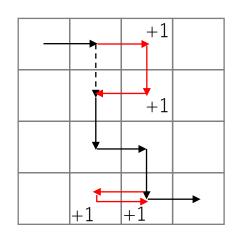
2020/5/30

焼きなまし遷移

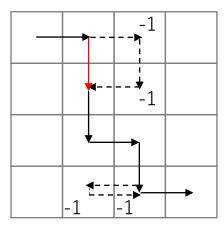
perturbate



extend



• shrink



- ・数字はセル訪問回数の差分
- 遷移は小さい方よい
 - スコア差分が小さく、受理されやすい
 - 高速化しやすい

- ・セルxの色を変更したとき、 盤面全体の連結成分数の変化はどうなるか?
 - 愚直に計算すると幅優先探索で $O(N^2) \rightarrow$ 遅い
 - 高速に求められれば焼きなまし回数を増やせる

- セルxの色を変更したとき、 盤面全体の連結成分数の変化はどうなるか?
 - 愚直に計算すると幅優先探索で $O(N^2)$ \rightarrow 遅い
 - 高速に求められれば焼きなまし回数を増やせる
- 輪郭追跡を使う
 - 画像処理でおなじみ 外周を舐めていくやつ
 - 4近傍*連結成分の周長 くらいの計算量に落ちる

- セルxの色を変更したとき、 盤面全体の連結成分数の変化はどうなるか?
 - 愚直に計算すると幅優先探索で $O(N^2)$ \rightarrow 遅い
 - 高速に求められれば焼きなまし回数を増やせる
- 輪郭追跡を使う
 - 画像処理でおなじみ 外周を舐めていくやつ
 - 4近傍*連結成分の周長 くらいの計算量に落ちる
- 輪郭追跡がいらない場合も
 - 色を変えても連結成分数に変化がない or 増減が明らかな場合がある
 - 8近傍256通りのルックアップテーブルを作って 輪郭追跡不要なケースを弾くとさらに速くなる

- セルxの色を変更したとき、 盤面全体の連結成分数の変化はどうなるか?
 - 愚直に計算すると幅優先探索で $O(N^2)$ \rightarrow 遅い
 - 高速に求められれば焼きなまし回数を増やせる
- 輪郭追跡を使う
 - 画像処理でおなじみ 外周を舐めていくやつ
 - 4近傍*連結成分の周長 くらいの計算量に落ちる
- 輪郭追跡がいらない場合も
 - 色を変えても連結成分数に変化がない or 増減が明らかな場合がある
 - 8近傍256通りのルックアップテーブルを作って 輪郭追跡不要なケースを弾くとさらに速くなる
- Seed 2 で 7M イテレーションくらい

初期状態の生成

- 各パスを伸ばせるだけ伸ばす
- 各セルへの訪問回数の分散を最小化する焼きなまし 1sec くらい
 - なんかバラついてる方がよさそうだったので
 - 隅のほうのセルは変更しにくい

二通りの評価関数

• 評価関数1

- (連結成分数の線形和)+(連結成分数の最大値)+(色違いの隣接セルペア数)*0.1
- 生スコアに近い評価方法
- 線形和にしたのはテストケースごとの焼きなまし温度調整が楽なため(サボり)
- 生スコアが二乗なので、第二項である程度抑える意図
- 第三項は、境界が少なければ連結成分も少なくなりそうという勘で入れた

• 評価関数2

- (連結成分数の線形和)+(連結成分数の最大値)+(色が1でないセル数)
- 第三項のみ違う
- テストケースによっては全面一色にしてスコア**1**にできることがある
- 10000→9000 の改善よりも 10→1 の改善

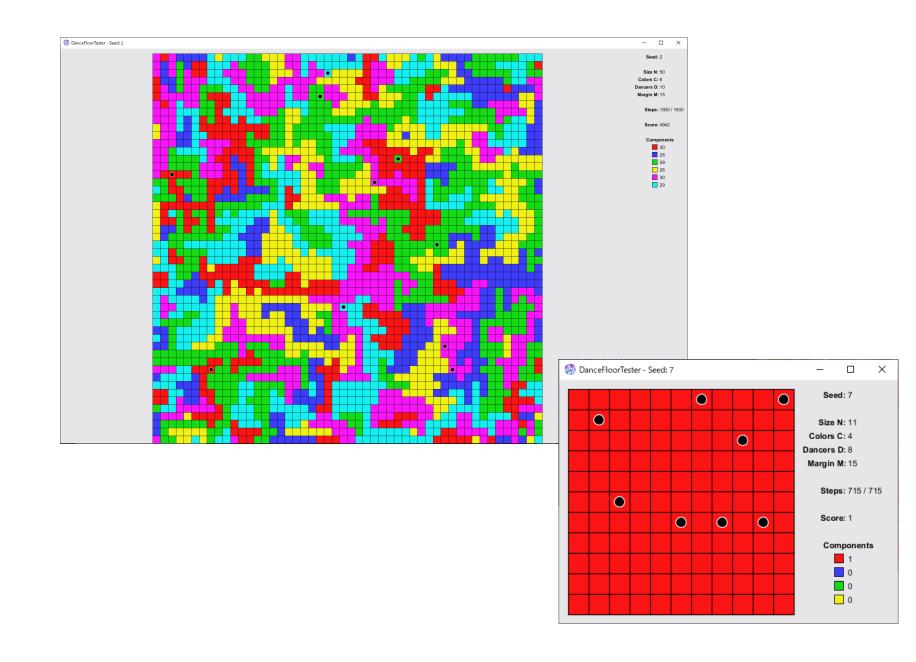
• 最初にパラメータを見て、どちらのスコアを使うか判断する(後述)

スコア選択

- 評価関数1
 - (連結成分数の線形和)+(連結成分数の最大値)+(色違いの隣接セルペア数)*0.1
- 評価関数2
 - (連結成分数の線形和)+(連結成分数の最大値)+(色が1でないセル数)
- 二つの評価法でseed 1~1000 を回す
- N,C,D,S,M,(D*S)/(N*N*C) の6つのパラメータでなんちゃって二クラス分類
 (D*S)/(N*N*C) は、パスによる盤面の被覆率のイメージ
- エクラス分類器にパラメータを突っ込んで、どっちのスコアを使うか判定
- seed 1001~2000 で確認したところ、評価関数1のみの場合より だいたい 8% くらいよくなった

seed 1~10

- 1. Score=5.0
- 2. Score=4934.0
- 3. Score=88.0
- 4. Score=6165.0
- 5. Score=2.0
- 6. Score=2.0
- 7. Score=1.0
- 8. Score=8.0
- 9. Score=5.0
- 10.Score=200.0



provisional: 12th/68

- そこそこ善戦
- 赤つえ~

Rank			User		Score			
Final	Provisional	Rating	Username	Final	Provisional	Time		
-	1	2748	Milanin	-	75.75281	27 May 2020 21:44:15	History (10)	>
-	2	2461	Daiver19	-	69.29225	27 May 2020 19:33:27	History (15)	>
-	3	2519	tomerun	-	67.50251	28 May 2020 00:52:45	History (2)	>
-	4	1813	c7c7	-	66.33989	28 May 2020 01:11:41	History (22)	>
-	5	2629	atsT5515	-	65.51218	28 May 2020 01:53:16	History (3)	>
-	6	2355	iehn	-	61.6318	27 May 2020 23:50:21	History (22)	>
-	7	2265	kurenai3110	-	60.86677	27 May 2020 13:26:14	History (10)	>
-	8	2506	sullyper	-	59.92635	27 May 2020 15:51:02	History (6)	>
-	9	2429	imazato	-	58.31177	28 May 2020 01:59:18	History (28)	>
-	10	2749	Psyho	-	56.86193	28 May 2020 02:01:25	History (11)	>
-	11	2200	yowa	-	56.64535	27 May 2020 23:27:12	History (8)	>
-	12	1743	my316g	-	55.63729	28 May 2020 01:33:46	History (21)	>
-	13	2222	CatalinT	-	54.03836	27 May 2020 08:41:27	History (5)	>
-	14	2067	mugurelionut	-	48.10885	28 May 2020 01:42:36	History (12)	>
-	15	1968	simanman	-	44.95151	27 May 2020 15:33:13	History (30)	>